北海道爬虫両棲類研究会第７回大会

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で,一般聴講も可能な基調講演と研究発表会を行います.北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話,現状などをお伝えする会となっております.午前の講演では「日本産カメ類の未来」について東海大学生物学部・講師の鈴木大氏がお話してくださいます.そして「動物園での爬虫類保全の取り組み（仮）」について札幌市円山動物園・飼育員の本田直也氏がお話して下さいます.

場所

札幌市円山動物園　動物園プラザ　（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

1月27日（日）　開場:9:30　開演:10:00～15:10

10:00～10:10　開会のあいさつ

10:10～10:45　東海大学生物学部・講師　鈴木大氏

**「日本産カメ類の未来」**

10:50～11:20　札幌市円山動物園・飼育員　本田直也氏
**「動物園での爬虫類保全の取り組み（仮）」**

11:20～11:35　質疑応答
11:40～12:00　ハープソン2018結果報告・表彰式

12:00～13:00　休憩

（12:05～12:25　北海道爬虫両棲類研究会総会：会員のみ）

13:00～15:00　研究発表６題　（裏面：発表番号①～⑥参照）

15:00～15:10 閉会のあいさつ

（15:10～16:00　は虫類・両生類館において観覧：会員と発表者のみ）

料金

聴講無料ですが,動物園入園料を各自ご負担お願い致します.（駐車場：動物園の駐車場 700円／日）

懇親会（18:00～　予算・4000円程度を予定）

会場：四季の味コロポックル円山店（北海道札幌市中央区大通西23-1-1 円山公園MS1F）　011-611-4646

<https://koropokkuru-maruyama.gorp.jp/>

事前に参加の連絡をしていない場合,なるべく早く研究会にご連絡下さい.当日昼前が最終締切ですが,その際人数が一杯になっていて受け付けられない場合があります.

【講師紹介】

**鈴木大**氏（すずきだい）神奈川県川崎市生まれ.東海大学生物学部・講師。カメ類の進化史および保全に関する研究や、爬虫類を中心とした系統分類学の研究を主に行っている。特に遺伝的変異に基づく種内変異から、生物の進化史の解明を目指している。.

**本田直也**氏（ほんだなおや）1976年札幌生まれ、1996年より円山動物園勤務。爬虫類、両生類、猛禽類担当、学芸員。NPO法人日本放鷹協会認定諏訪流鷹匠。2002年にヨウスコウワニの繁殖で「高碕賞」、2007年に市民ZOOネットワーク「動物園人賞」を受賞。自宅でも犬猫をはじめ、爬虫類や猛禽類など多数の動物を管理しており、仕事における「稽古場」として機能している。

**研究発表題**（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表12分,質疑応答３分 　発表者に○

①北海道上士幌町で確認されたキタサンショウウオの生息状況(概報)　／　○照井滋晴（PEG）

②北海道東部の温泉地帯におけるヘビ類の生息状況　／　○永井智也（東邦大大学院・理学研究科）

③エゾアカガエルの卵塊の中心温度（仮）　／　○高井孝太郎（東海大・生物）

④カエル捕獲法としての釣りの可能性　／　○徳田龍弘（ばいかだWILD-PHOTO）

⑤北海道・東北地方におけるヒガシニホントカゲの分布記録について

　／　○塚本誠太（北海道爬虫両棲類研究会）

⑥アズマヒキガエルの孵化幼生が在来両生類の幼生に与える影響

　／　○岸田 治（北大・北方圏FSC・苫小牧研究林）・山口 彩（北大・院・環境科学）

問い合わせ先

〒005-0021 北海道札幌市南区真駒内本町7-4-27 北海道爬虫両生類研究会事務局　徳田宛

syomu@koke-koke.com

なお,大会当日に受付で配布するプログラムには,要旨集も添付されます.